

特定非営利活動法人日本臨床腫瘍学会  
第3回 専門医認定試験結果

合格者 受験番号

0002	0024	0044	0071	0098	0118
0004	0026	0047	0072	0099	0120
0005	0027	0048	0076	0100	0121
0006	0029	0049	0078	0101	0123
0007	0030	0051	0079	0102	0124
0008	0031	0052	0082	0106	0125
0011	0033	0056	0083	0108	0126
0013	0034	0058	0084	0110	0127
0014	0035	0059	0087	0111	0128
0015	0037	0061	0089	0112	
0016	0038	0063	0090	0113	
0017	0039	0067	0092	0114	
0019	0042	0068	0096	0115	
0020	0043	0069	0097	0116	

受験者：117名、合格者：79名、合格率 67.5%

特定非営利活動法人日本臨床腫瘍学会  
専門医認定試験 合否判定基準

1) 病歴要約

2名の査読者による査読点が60点以上で総合的に合格と判定された受験者が筆記試験ならびに面接試験を受験することが出来る。

但し、査読者の1名が不合格と判定した場合は、もう1名の査読者と合議し合否を決定する。2名の査読者とも60点未満の場合は不合格とする。

2) 筆記試験

腫瘍学一般、臨床薬理、インフォームドコンセント、臨床試験、治療学総論、各臓器・領域腫瘍総論、支持療法・緩和医療等についての設問に対し、正答率70%以上は合格、70%未満はその年の難易度によって合格ラインを決定する。

3) 面接試験

受持患者病歴要約から1症例を選択し提示を行い、2名ないし3名の面接官とディスカッションする形で面接試験を実施する。

なかでも実際に診療に携った症例かどうか、がんの治療、特にがん薬物療法について、EBM、標準的な治療が十分理解・実施されているかどうか、また安全管理、倫理面について評価をする。優・良・可・不可の4段階評定の「可」以上を合格とする。

以上、1) 2) 3) を総合的に判断して合否を決定する。